

株式会社寶角ギヤー

創業より時代に翻弄された100年は
生き残りを懸けた100年でした。
社は「叮嚀」

| | |
|------|------------------------|
| 商号 | 株式会社寶角ギヤー |
| 本社 | 〒671-0253 姫路市花田町一本松406 |
| 創業年 | 1918年(大正7年)7月1日 |
| 設立年 | 1956年(昭和31年)1月1日 |
| 資本金 | 3,000万円 |
| 従業員数 | 120人 |
| 事業内容 | 中小型歯車・変速機製造 |

歯車製造業として、戦後の動乱期を経て日本の高度成長を支えた自動車、建設機械、農業機械、工作機、印刷、産業車両に欠かせない歯車をつくり続けた60年から脱炭素時代におけた新時代に挑戦します。



創業者
寶角仙之助



右:創業者 寶角仙之助 中:2代目 寶角弘



1976年当時の社内風景

創業、戦争を経て歯車製造へ、そしてこれからも模索が続く

当社100年史は創業者寶角仙之助が奉公させていただいた山本製作所からの年明けけにより1918年創業「合資会社寶角鐵工所」から始まりました。

創業当時から発明家であった創業者は戦前には発動機を設計、製造、販売していたようです。戦時中には海軍軍需工場として潜望鏡昇降装置の製造を行い、尊い若者の命を国に捧げる人間魚雷回天の潜望鏡も製造したことを祖父は長い間隠し続けていたことを考えると心が痛む思いでございます。

終戦間もない仕事もない中に復員してきた社員たちを全て受け入れたとも聞いています。

その後の当社は、一時GHQ車両整備等を行っていた時期や、1950年代には鐵工所を廃業し牧畜業への転身も模索した時期もあったそうです。しかし2代目社長寶角弘の提案もあり1960年初頭より歯車製造を開始し、現在に至っております。

市場も造船→繊維→農業機械→産業車両と斜陽と成長を繰り返す国内産業に即応しつつ、現在は建設機械市場となっておりますがこれからの新市場を求め続けます。

100年は過去のモノ、2018年 start up 企業はヨチヨチ歩き

2020年世界的なコロナ感染症拡大はすべてに於いてゼロベースで見直す時代に入ったと言われております。

当社は2018年に100年の区切りを付け、過去の歴史に奢らず、2018年を新たな創業年と位置付け全ての価値観をゼロベースで見直しに入りました。企業、個人、各種団体への関わり方も生活様式も全て見直し、富や名声だけを評価重んじてきた時代から社会に貢献できる倫理観の高い企業を目指してまいります。

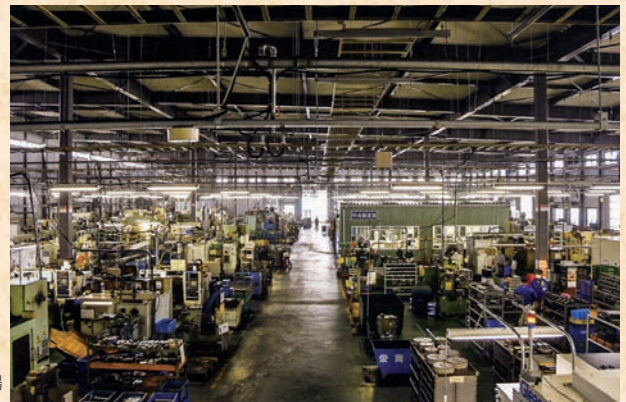
SDGs、ESG、脱炭素社会を中心とする環境への取り組みや差別を無くす取り組みを重要活動と認識し、まずは姫路から日本へ、そして世界中の隅々まで当社の倫理観を重んじた活動を展開できる企業づくりに励んでまいります。

ぜひ、再創業5年目の当社に皆様のお知恵とご支援を今後ともよろしくお願い申し上げます。



100周年記念ロゴ

1918年に噛み合う歯車は敢えて歯を全周にデザインしていません。これがスタートアップの表れです。



一本松工場

Since 1918